

# いこい通信

～ 家族と施設をつなぐ架橋～

2023年7月

夏号 (季刊)

発行 特別養護老人ホームいこい

特別養護老人ホームいこいは、令和5年7月1日で開設10年を迎えることになりました。

これもひとえに、ご利用者様やそのご家族様をはじめ、地域の皆様のご協力・ご支援のおかげです。当施設は、ご利用者様を一番に考え、人と人との繋がりを大切にしながら、地域に親しみ、地域に根付いた福祉の拠点としての役割を果たせるように邁進してまいりました。

そして、超高齢化社会を迎える中、介護人材の不足や、新型コロナウイルスの発生、物価の高騰など、様々な社会的困難を乗り越えて今日があります。これらの経験を活かし、今後も、皆様が笑顔になれる福祉サービスが提供できるよう努力し、変革を恐れずにチャレンジしてまいります。

引き続きご支援いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 熱中症

### 「梅雨の晴れ間」や「梅雨明け」は特に注意

急に暑くなると、熱中症のリスクが高まります。

暑くなる前から、運動や入浴で汗をかき、体を暑さに慣れさせて、暑さに負けない体づくりを心がけましょう。



こまめな水分補給、適度な塩分補給をこころがけ、子供や高齢者は、周りの人が気に掛けるようにしましょう。

#### ■主な症状4つ

- ① **熱疲労**：体がだるく感じる症状のことで、水分補給が追いつかず、体がフラフラしたり、頭痛、嘔吐を引き起こすこともあります。
- ② **熱失神**：皮膚血管が拡張することで血圧が下がり、脳血流が減少することで引き起こされます。暑い場所で急に立ち上がったたり運動後に起こりやすく、めまいや失神、顔面蒼白といった症状が起こるのが特徴です。
- ③ **熱けいれん**：水分は補給しているものの塩分が不足し、血液の塩分濃度が低下することで、筋肉痛や筋肉のけいれん、手足がつるなどの症状が現れます。
- ④ **熱射病 (最も危険!)**：体温が上昇し中枢機能に異常をきたしている状態。体温が高くなり、意識障害やショック状態になることも。

#### ■熱中症かも！と感じたら

- ① **涼しい場所へ移動しましょう。**  
日陰や空調の効いた室内などに移動し、できるだけ早く体を冷やしましょう。
- ② **体を冷やしましょう。**  
衣服を緩め体温を逃がし、保冷剤や冷やしたペットボトル、氷枕などを使って、両側の**首筋**や、**わきの下**、**足の付け根**を冷やすと効果的に下げられます。
- ③ **水分と塩分を補給しましょう。**  
冷たい水を、自分で持って飲んでもらうと、体にこもった熱を奪うだけでなく、水分補給もできます。また、経口補水液やスポーツドリンクを飲めば、汗で失われた塩分も適切に補えます。

熱中症による死者の8割は、65歳以上の高齢者です。そのほとんど室内での熱中症で、東京都23区における高齢者の死亡例のうち**9割がエアコンを使用していなかった**という報告があります。

## 歯科診療の回数を増やせます 🦷 必要な方には医療機関から電話

当施設では、さくらぎ小田原歯科の往診により歯科治療や口腔ケアを行っています。この診療時間が8月から延長されることとなりました。これにより、診療回数を増やし迅速に治療を行なえるようになります。歯科医師が診療回数を増やしたほうが良いと判断した方については、さくらぎ小田原歯科から直接ご家族に意向確認の電話をさせていただきます。

歯科診療は、毎週金曜午後の往診でしたが、午前と午後を通した一日に拡大されます。高齢者にとって、口腔の衛生管理は誤嚥性肺炎をはじめとした、さまざまな疾患を予防する効果があります。歯科の診療体制を充実させるため、いこいと医療機関の間で調整を続けてきましたが、診療時間を延長できることになったものです。



## 介護施設専用 24時間医療対応サービスの導入について

現在、特別養護老人ホームの入居要件が原則要介護3以上となったこと、また、病院での入院から暮らしの場への住まい変更を推進していることなどから、当施設におきましても介護度の高い方、疾患を複数抱えた状態の入居者様のご利用が増えてきています。

それに伴い、24時間365日専門の医師もしくは看護師へアクセス出来る環境を整えることにより、入居者様により一層安心した生活が送れるように、また、関わる職員も安心して夜間の対応が出来る様にと、本サービスの導入を予定しています。早ければ8月からの導入となる見込みです。

導入後は夜間オンコールの1次窓口を次の業者とさせていただきます。必要な場合は、夜間も専門の医師や看護師の判断が仰げるオンコールとなります。現場対応などが必要な場合は、これまで通り施設看護師や介護職員等が施設に駆けつけますのでご安心ください。

### <検討サービスの概要>

- サービス提供会社：ドクターメイト
- 24時間外部医療サポートについて



【1】夜間オンコール	【2】日中医療相談
<ul style="list-style-type: none"><li>対応時間：365日／17:00～8:30</li><li>特徴： 状態変化や急変時に電話で看護師に相談可能 状態変化や急変時に電話で<b>医師に相談可能</b></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>対応時間：365日／8:30～17:00</li><li>特徴：嘱託医の担当以外もオンラインで専門医に医療相談が可能 例) 皮膚科、整形外科、泌尿器科、コロナ疑いなど<b>全科対応可能</b></li></ul>

※ドクターメイトは、内閣府 2022 年度地方創生SDGs 官民連携優良事例・優秀事例に選定されました。

## 新型コロナのワクチン接種について

- ◆ 6回目（令和5年春開始）のワクチン接種が、6月19日と6月26日に当施設内で行われました。特別な事情があり接種できなかった方を除いて、すべての入居者様・職員が終了しています。
- ◆ 次回（7回目）は、9月以降（秋開始）にワクチン接種を予定しています。

## 本当にコロナ第9波が来ているの？

「コロナの新規患者が倍増した」「コロナ第9波の入口にさしかかった」といわれても、あまりピンとこないですね。コロナの5類移行で、街中ではマスクを外す人も増え、ようやく以前の日常が戻ってきました。大きな問題が起きているようには見えません。

しかし、7月5日に日本医師会が「現状は第9波と判断が妥当」という見解を示しました。

5類移行で感染者数の「全数把握」が廃止され、全国の感染者数の実数がわからないため、感染状況は厚生労働省が指定した全国約5000の医療機関による、週1回の「定点把握」のデータから推測するしかないのです。



### ■ 定点把握のデータ

➤ 6/19～6/25 の定点把握の新規コロナ患者が全国平均で6.13人と、5類移行直後だった5/8～5/14の平均2.63人から倍増しています。

※ 沖縄県では39.48人/週と、全国平均の6倍以上、一部の医療機関で事実上の医療崩壊が起きています。

### ■ 6月の大規模クラスター事例

例1) 福岡大学付属大濠中学校・高等学校で、体育祭に参加した全校生徒のうち約460人が発熱などの症状で欠席

例2) 埼玉県の春日部高校で、文化祭後に116人が集団感染して学校閉鎖



東北大学大学院教授で東京都新型コロナ対策アドバイザーボードのメンバーを務める小坂健氏も、「この夏、日本がコロナ第9波に直面するのは避けられない。一部ではすでに始まっている」と語っています。

### ■ 第9波!! これまでの感染対策との違いは

コロナの5類以降で、感染対策も個人の判断に委ねられるところが多くなりました。従って、感染が拡大してもブレーキが利かない状況です。

『マスクは外してもいい』『いや、つけるべき』といった単純な二項対立ではなく、もう少し柔軟に、例えば、重症化リスクの高い高齢者の前ではマスクをつけるといった心配りをするなど、一人ひとりの思いやりが鍵になると考えています。

### ■ 免疫力っていつまで持続するの

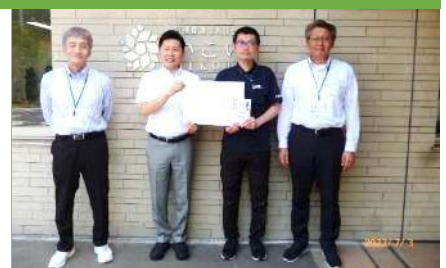
ひとりで免疫力と言っても、ウイルスの感染そのものを防ぐ効果と、感染後の重症化を予防する効果があります。それぞれ持続期間に違いがあるのですが、重症化予防効果が少なくとも1年程度長持ちするのに対して、感染防御効果は、最も強力かつ持続期間が長いといわれる『ワクチン+実際の感染』の"ハイブリッド免疫"でも、4～5ヵ月程度で効果が大きく下がるといわれています。

## 勤続10年表彰

小笠原相談員が勤続10年を迎え表彰されました👏パチパチ

小笠原相談員は、当施設が開設するまえの開設準備室から従事しており、当施設の歴史を全て知っている職員です。これまでの感謝と功績をたたえ表彰状と記念品が送られました。

これからも施設の顔として活躍してくれることを期待しています。



## ご入居者様・ご利用者様の様子

### 百寿のお祝い



守屋小田原市長もお越し下さり、百寿のお祝いをご家族様とともに行いました。本当におめでとうございます。



特定技能のケビンが、得意のPCで描いた似顔絵を贈りました



守屋市長から表彰



みんなでパシャリ

お写真の掲載はできませんが、もう一方、百寿を迎えられました。本当におめでとうございます。



### 普段の様子



### 行事食



子供の日  
お祝い♡ちらし

### フラワーガーデン に行ってきました



バラがとっても  
キレイだわ



### 【お問い合わせ】

特別養護老人ホームいこい

〒250-0055 神奈川県小田原市久野 4406-1

Tel. 0465-43-8011 Fax. 0465-43-8023

Mail. info@i-koi.net



<https://i-koi.net>

